

ひばり野西高に2コース

野西生徒、先行し五戸で生活

旧青森県立五戸高跡地に野辺地西高が移転する形で



4月から野辺地西高の生徒が生活する旧五戸高の生徒会館

119日、五戸町

2027年4月に開校する

予定の八戸学院ひばり野西高で、五戸町は9日、学科の設置計画などを明らかにした。普通科に「スポーツ

探求コース」と「グローバル探求コース」の2コースを設ける。また、運営する

学校法人光星学院によると、野辺地西高の生徒の一部が今年4月から、旧五戸

高生徒会館を改修した宿泊施設から野辺地町に通学するという。

同日の五戸町議会一般質問で若宮佳一町長が、同法人と町関係者などで構成する移転開設準備室会議の検

討結果に基づき説明した。ひばり野西高の特色として▽スポーツを軸に据えた

教育▽地域との協働を重視▽法人内上級学校との連携の3点を掲げる。男女共学の全日制で、定員は各学年80人の計240人。

コース設定は、スポーツ探求はアスリートとしての資質向上やスポーツを通じた人間形成、社会貢献できる人材育成を目指す。グローバル探求は世界の視点で物事を考え、地域を深く知り、郷土愛を育みながら地域や社会に貢献する人材の育成を目的とする。

学院側は開校までに90人規模の寮を新設する予定だが、先行して旧五戸高の生徒会館を改修した宿泊施設を準備中。26年度に在籍する野辺地西高の生徒約20人が暮らし、スクールバスで通う。生徒に早く五戸での生活に慣れてもらうことが目的。

(田村純也)